

ファイアラ先生の

古典文学  
ゼミナール

『徒然草』

を読む



「徒然草」(国立公文書館蔵)

講師 カレル・フィアラ (福井県文書館古典文学顧問)

『徒然草』は「三大随筆」の一つと見られています。随筆の構成は日記から発達しましたが、政治から離れた作者が編年体で書くのではなく、気の向くままにランダムに書き連ねています。

『徒然草』は吉田兼好によって著され、仮名文と和漢混淆文で記されました。兼好は出世をあきらめ、仏の道を選びました。内容は自然や生活、出来事や人生観など多岐にわたっています。

- 第1回 平成30年 10月13日 | 土 | 13:30~15:00
- 第2回 11月17日 | 土 | 13:30~15:00
- 第3回 12月15日 | 土 | 13:30~15:00
- 第4回 平成31年 1月26日 | 土 | 13:30~15:00
- 第5回 2月23日 | 土 | 13:30~15:00
- 第6回 3月16日 | 土 | 13:30~15:00

会場は、すべて福井県文書館研修室

\*各定員 40 名。電話、Fax、メール等で事前に申し込んでください。

\*『すらすら読める徒然草』中野 孝次 著  
(講談社文庫) 定価 610 円(税別)  
(ISBN978-4-06-277705-6)  
を用意して、受講してください。  
(受講無料)

